

令和7年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

呉中央中学校区 校番13 呉中央中学校

a 学校教育目標	「自分」を育てる	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) 小中一貫教育を通して、生涯を自ら豊かに学び続け、 自他を大切に主体的に生ききる根っこを育てる。 <ビジョン>(将来の学校像) 「楽しい学校・安心できる学校・やりがいのある学校」
----------	----------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	生活科・総合的な学習の時間を中心に、児童生徒の問いがつながる深い学びの実現を目指して小中で研究を進めてきた成果が出ている。その他の教科においても生徒に思考を促す発問を取り入れ、「呉中央学園 深い学びを実現する授業スタイル」をもとに、更なる授業改善を進めていく。また、生徒の心にしっかりと寄り添い、自尊感情の向上に向けた取組を継続していくと共に、生徒が安心して生き生きと学校生活を送れるように、「心の居場所づくり」及び「積極的な生徒指導」に取り組んでいく。さらに、業務改善を進め、元気で明るい職場づくりに取り組んでいく。
------------------------------	---

育成を目指す資質・能力	「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」
-------------	---------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)					自己評価						
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	① 生ききる根っこを育てる「豊かな学び」の創造	① 「主体的、対話的で深い学び」の実現と基礎・基本の定着を図る。	① 学園授業スタイルに基づき、探求的な活動や「思考を促す発問」を取り入れた思考過程の工夫による授業改善を推進する。	授業の中で「思考し表現している生徒」の割合	90%	93%	103%	A	93%	103%	A
② 総合的な学習の時間に係る意識調査において肯定的回答をしている生徒の割合			85%	91%	107%	A	96%	113%	A		
③ 個別支援プログラムに基づき、補充学習・質問教室等を進める。タブレット教材等ICTを有効的に活用する。			学力調査・定期試験(国・数・英)における通過率30%以上の生徒の割合	90%	90%	100%	A	87%	96%	B	
④ 授業と関わりのある課題を設定し、「呉中央中学校スタンダード」を活用して、家庭学習を進める。			各学年の家庭学習目標時間の達成率の割合	65%	66%	102%	A	64%	98%	B	
**	① 生ききる根っこを育てる「豊かな生き方」の創造	① 「自己指導能力」を高める。	① 生活目標「あいさつ」「返事」「時間」「掃除」を明確に示し、自己評価・他社評価等を行うことで習慣化を図る。	「あいさつ」「返事」「時間」「掃除」に関するアンケートにおいて肯定的回答をしている生徒の割合	95%	96%	101%	A	97%	102%	A
② 生徒指導の実践上の4つの取組を取り入れて、集団づくり・授業づくりを進め、望ましい人間関係をつくり、生徒の自尊感情を高める。			自尊感情に関するアンケート「自分にはよいところがある」と思っている生徒の割合	90%	84%	93%	B	86%	96%	B	
*	① 生ききる根っこを育てる「しなやかな体」の育成	① 基本的生活習慣の定着と体力・運動能力の向上を図る。	① 三点固定(早寝・早起き・家庭学習)やメディアコントロールの指導の充実を図る。	三点固定ができていると回答している生徒の割合	80%	76%	95%	B	82%	103%	A
② 小中で共通した重点種目を設定し、9年間を見通した取組を推進する。			8年生の新体力テストの結果、昨年度より向上した生徒の割合	80%	80%	100%	A	80%	100%	A	
業務改善	① 業務改善を進め、元気で明るい職場を実現する	① 生徒と向き合う時間を確保する。	① 会議の精選・時間短縮や校内研修の計画的な実施により、勤務時間の有効活用に努める。	生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	80%	73%	91%	B	77%	96%	B
		② 長時間勤務の縮減を図る。	② 部活動規定と一斉定時退校の厳守を習慣化する。	時間外勤務が月45時間以下の教職員の割合	70%	65%	93%	B	70%	100%	A
いじめの防止	① 安心・安全な学校生活の確保と信頼される学校づくりの実現	① いじめを絶対に許さない生徒の育成を図る。	① いじめ撲滅キャンペーンやSST等を通して望ましい人間関係を育む。	「いじめは絶対に許されない行為である」と考える生徒の割合	100%	98%	98%	B	99%	99%	B

【k: 評価】
 A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60